

大草谷津田いきものの里 自然観察会

谷津田はホタルのお宿 です

石嶋基次（千葉市）

日 時：2012年7月15日(日)10:30～12:00 天候 晴れ 32℃

参加者：41名（大人26名 子ども15名）

担当指導員：赤木光明・石嶋基次

梅雨の晴れ間とは言え前日から強風が吹き、快晴で暑い観察会でしたが、九州地方は前線の影響で集中豪雨により大きな被害が出ていて気の毒な日曜日でした。お盆と3連休の中日にも関わらず親子での参加者が多く賑やかで楽しい観察会になりました。

テーマに合わせて谷津田とホタルの繋がりを知って貰うことを狙いに観察会を始めました。目標が「ホタルやメダカと共に暮らす里づくり」として出来た場所なので主役のヘイケボタルの実物を前夜から採取しておき、子どもたちに見せると昼間のホタルの姿を真剣に観察していました。光るホタルをイメージしていたのに、違う姿に少し戸惑っていました。赤木指導員の用意周到な説明資料を用いて、ヘイケボタルの自生地として環境豊かな大草谷津田の重要性を参加者に理解してもらいました。



水路での生き物探し

1. 前夜参考採取したヘイケボタルを観察しながらホタル総論の説明。
2. ホタル自生地に欠かせない水について実験。PH、COD（湧水、ジュース、洗剤、酢）ホタルの宿は川ばたやなぎ・・・と夜の光景をイメージして童謡をみんなで合唱。
3. 7月10日(火)の12年度1回目のホタル調査及び昨年度の調査結果から発生数の多い場所の色分け図を参考に、自然環境を観察。（田圃、水路、畔草、樹木、湧水）
4. 斜面林から染み出る水に、ヘイケボタルと同じ環境で他の生き物がいるのか体験活動。子ども達は浅い水路に素手を入れて冷たさを体感、水路の中でサワガニ・カワニナ・オニヤンマのヤゴ・ガガンボなどを採取、近くの樹木でオニヤンマの羽化殻も観察、水生生物の食物連鎖など豊かな自然の必要性を説明。
5. 里山や谷津田は昔から地域の住民が絶えず手入れをして維持して来たお蔭で良い自然が残されているので、このことを忘れずに自然を守る心を持ってほしいと要望。
6. 暗闇に光るホタルの幻想的な魅力を感じてもらうのは実際に見て貰うのが一番、次回のホタル調査が17日(火)にあるので感動を味わってほしいと案内。

昼間見て、夜見て、初めてホタルのお宿が解るでしょう。

《参加者の感想》

たくさんの生き物にビックリ/ホタルの成虫が小さいのに驚いた/小川の探検が楽しかった/
夜のホタルも観察したい/初めて来た、これからも来たい/高い木に上るヤゴに驚き

担当者一言

小さな頃から親子で来る参加者に感謝。参加指導員の連携支援に励まされました。